

地域医療連携室だより

平成 30 年 1 月
NO.47

公立学校共済組合東北中央病院 地域医療連携室・入退院支援室

TEL 0120-703-995 FAX 0120-168-990 代表 TEL 023-623-5111

▷ 年頭のご挨拶



公立学校共済組合東北中央病院

副院長兼 地域医療連携室室長

齋藤善広

新年、明けましておめでとうございます。
皆様には健やかに新春を迎えられたことと、拝察申し上げます。
また日頃から温かいご支援ご協力を受け賜わり、心からお礼申し上げます。
本年も『心温かい信頼の医療』の病院理念のもと、皆さまのお力になれるよう
職員一同 更なるサービスの向上に努めて参りますので、
2018 年も変わらぬご支援を賜わりますよう宜しくお願い申し上げます。

▷ アレルギー性鼻炎・花粉症とその治療法について

アレルギー性鼻炎・花粉症を含むアレルギー性疾患患者数は、年々増加し大きな社会問題になっています。
今回はアレルギー性鼻炎・花粉症について、最新治療を含めて紹介します。

アレルギー性鼻炎はどんな病気？

アレルギー性鼻炎とは、簡単に言うと「くしゃみ」「鼻水」「鼻づまり」を主な症状とするアレルギー疾患です。花粉が原因となるアレルギー性鼻炎のことを花粉症と言います。スギ花粉が原因であればスギ花粉症となります。



公立学校共済組合東北中央病院

耳鼻咽喉科部長

稲村和俊

診断はどのように？

アレルギー性鼻炎の診断は、主に右の④～⑥の検査を行います。
くしゃみ（鼻のかゆみ）、水様性鼻漏、鼻閉の3つの主な症状があり、鼻汁好酸球検査、皮膚テスト、血清 IgE 抗体検査、誘発テストのうち、2つ以上が陽性ならばアレルギー性鼻炎と診断されます。

主な検査項目

- ④ 問診
- ⑤ 鼻鏡検査
- ⑥ 鼻汁好酸球検査
- ⑦ 血液検査
(血清総 IgE 特異的 IgE)
- ⑧ 誘発テスト
- ⑨ 副鼻腔X線検査

治療はどうするの？

アレルギー性鼻炎治療の第一原則は、原因物質の除去と回避です。具体的には寝具、カーペットの掃除によるダニ・ホコリの除去、花粉を避けるためのマスク・メガネの装着などです。それでも症状が出る人には薬物治療が必要となります。治療薬も様々あり、症状、年齢、合併症、職業にて選択する必要があります。

主な薬物治療の方法

① 一般的な治療

眠気の少ない第2世代抗ヒスタミン剤、遊離抑制剤、
TH2 サイトカイン阻害剤の内服

② 症状が強い場合

点鼻ステロイド薬の追加

③ 重症の場合

ステロイド薬の全身投与

④ 鼻閉重症の場合

点鼻用血管収縮薬の追加

⑤ 鼻閉が主な症状の場合

抗ヒスタミン剤と塩酸プロイドエフェドリンの配合剤
内服

⑥ 副作用が心配な方

副作用の少ない漢方薬（小青龍湯、葛根湯など）の内服

⑦ スギ花粉症の初期療法(予防投与)

スギ花粉飛散1～2週間前より薬物治療を開始

⑧ 免疫療法(減感作療法)

アレルギー性疾患を治癒できる唯一の治療方法

・皮下免疫療法（SCIT:スキット）

スギ、ブタクサ、ハウスダスト、カンジダなど数種類が現在市販されている。月に数回通院し皮下注射を行う必要があり、治療期間は3～5年と長期になります。

・舌下免疫療法（SLIT:スリット）

スギ花粉症の最新治療としてスギ花粉症舌下免疫療法があり自宅での治療が可能になります。現在、ダニアレルギー用エキスも追加適応となっています。治療用エキスを舌の下に毎日投与しアレルギーの原因物質を少しずつ体内に取り込んで体質改善を図るものです。しかし効果が出るまで1年程度必要です。副作用の可能性が高くなるスギ飛散時期には治療開始できません。治療開始時期は5月中旬から12月下旬になります。2～4年間継続治療が必要で3年以上継続することが望ましいと言われております。治療によるアナフィラキシーなど重大な副作用が出ることがありますので、治療は主治医と十分相談しながら行う必要があります。

主な手術と特徴

薬物治療などの保存的治療で改善が見られない場合に、限定的に手術療法を行います。根本的な治療でないため1～2年で症状再発することもあります。

① レーザー治療

レーザー照射にて鼻粘膜表面の焼灼

② 高周波電極を用いて肥厚した鼻粘膜の焼灼や切除

③ 鼻内後鼻神経切断術

鼻汁分泌神経を切断し分泌量を減少

④ 粘膜下下鼻甲介切除術

肥厚した鼻粘膜の骨部分を除去し鼻腔を拡大

⑤ 下鼻甲介粘膜切除術

肥厚した鼻粘膜を切除し鼻腔を拡大

⑥ 鼻中隔矯正術

変形した鼻中隔軟骨を除去し鼻腔を拡大

最後に

スギ花粉飛散の程度や時期は、地域によって大きな差があります。スギ花粉症の方は、事前に花粉情報を確認し、花粉対策の準備をお願いします。最近では医療用の抗アレルギー薬が、一般用医薬品（市販薬）として薬局で簡単に購入できるようになりましたが、アレルギー性鼻炎・花粉症の治療は、症状・年齢・合併症・職業にあわせて治療方法を選択する必要があります。アレルギー鼻炎や花粉症でお悩みの方は、一度耳鼻咽喉科を受診してください。自分にあった良い対処方法が見つかるかもしれません。

当院はスギ花粉の舌下免疫療法に関する登録施設となっておりますので、舌下免疫療法について興味のある方はお気軽にご相談下さい。

▷ 第1回 地域連携ミーティング開催

平成30年1月17日（水）当院において、山形市内、鈴川・和合地区周辺の介護施設やサービス事業所の関係者の参加をいただき、第1回地域連携ミーティングを開催致しました。9箇所の事業所からの代表13名と当院職員10名の計23名が参加し、日頃当院に対するイメージや要望などについて意見交換をすることができました。今回の地域連携ミーティングを通し、今後の支援の在り方、関わり方を再確認することができました。より地域での役割を発揮し連携強化を図っていきたいと思います。



編集後記

平成30年、新しい年は**戌**年です。今年は診療報酬や介護報酬改定などいろいろな変化のある一年ですが **ワンチャンス**、**ワンステップ**の思いを込めて進めていきたいと思います。

東北中央病院

地域包括ケア病棟だより

「地域包括ケア病棟」とは・・・？

入院治療後、病状が安定した患者様で、すぐに退院し在宅療養するには不安がある・準備が必要だ、などという患者様に対して、リハビリや退院支援を行う「在宅復帰支援のための病棟」です。在宅復帰にむけて様々な職種が連携・協力して患者様を支援させていただきます。

「多職種カンファレンス」の風景・・・



在宅復帰へ向けて、患者様一人一人に合わせた支援を話し合っています。

主治医・看護師・薬剤師・管理栄養士・リハビリスタッフ・医療ソーシャルワーカーなど様々なスタッフが参加しています。

♪こんな楽しい企画もしています♪

～☕ 6Fカフェ ☕～

「6Fカフェ☕」とは・・・

患者様やスタッフとのコミュニケーションをはかり、楽しい時間を共有することで、参加者間の交流を深め、体だけでなく心も元気にすることを目的としています。

「6Fカフェ」ではハンドマッサージや歌うなどの癒しの企画のほか、口や指の体操、呼吸体操など楽しみながらレクリエーションを行い、心身の健康を目指します♪

みんなで歌おう！



癒しのひととき～「ハンドマッサージ」



誤嚥予防に！「呼吸体操」



「口や指の体操」で脳を活性化しよう！